# 俳句・川柳

作のビールが、一つでも笑顔がであるこっそり問っても がしみる。 がすべていますべています。 がすべています。 がすべています。 がすべています。

方言で語れば本金梅雨寒で飲むに飲をしている。 で音ついまい大麦酒飲い人麦酒飲い ポロリのおというないというないというというというというというという。

渋福増菜 柿男水々

表の会 兼題 「 老いしこと互ひに言わず麦茶汲むある時は馬走るよう夏の雲 のべられし麦茶ごくごく配達夫 スカートも母の手縫いよ麦茶飲む 麦茶持ち家族総出の畑仕事 間を足を踏ん張って草取りにけり 明られぬ夜を梅酒で埋めにけり 明を足を踏ん張って草取りにけり 来客に麦茶注げば一気飲み 首もたげ植田真直に山がかし を大けが田裏直に山がかし を大けが田裏直に山がかし を大きるよう夏の雲 かち割の音を残して麦茶飲む なって草取りにけり かち割の音を残して麦茶飲む よ麦茶飲む く配達夫 けかこっこ な 清花乙春 香乃女雪古江

出」「当季雑詠」

「当季雑詠」

春林子紫景の若 爽 蘭 ど 星子緒子香か邨 雪年爽青

のしや 災の句で るに箸の重 で は まり で は まり で れ し 池 一 島 俳 句 難大の会

明木子

梅片母

雨陰の 雨籠り雨の高くの味ご飯にの味ご飯にの味ご飯にの

の童謡唄ひにのせて紫藍

5継ぐ「通る気蘇実連

兼題 な 弘真よ院

て朝のかれる 夏ま出な歩に **突き刺し破る** では一後に光る い色に和めり の色に和めり の色に和めり の色に和めり の色に和めり

> ヤ清操雅 史シ 子子子彦 男惠

をはなる。

のき身さ

水好女

回 資 収 源 場回 所は千厩市民センター収に協力願います。古 , 一東側 古新聞 凹かって右側〉にあり**雑誌」 ダンボール**」 ゙ デル 。※缶はつぶさないでお持ちくださいミ缶」など。

## ~けいさつからのお知らせ~

防災意識の高揚について

防災週間 8月30日~9月5日

防災の日 9月1日

## 万一に備えて防災意識を高めましょう!

自然災害による被害をゼロにすること はできませんが、一人ひとりの準備や心 構えで被害を減らすことは可能です。

日頃から、非常食等の準備や家族との 連絡手段、避難場所の確認をしましょう。





千厩警察署 51-0110 ○お問い合せ先



親子体験スクールは9月15日(日) 敬老の日特別企画として「祖父母と学 ぶ〜昭和と今〜 バスツアー」を実施 します。

行き先は花巻方面で『昭和の学校』 『農業科学博物館』を巡り ます。詳細チラシを千厩小学校で配布 しますのでご覧ください。

お申込み・お問い合わせ 千厩市民センター 🖀 52-2309

# 前昆也少多一

発 行: 千厩市民センター

発行日:令和元年8月25日

電 話:52-2309 FAX:53-2565

皆さんからの情報をお待ちしています

#### 認知症予防は食事から ∼脳トレ講座∼





脳トレ講座第2回は7日、認 知症予防に効果がある食事に ついて、岩渕幸子さん(栄養 士)を講師に学習し、試食も しました。

受講生15人は、脳を活性化 する栄養素を知ることができ、 料理も美味しかった。認知症 を予防する健康習慣を身につ けたいと話していました。

# 「ローズヒップでローションづくり」~元気セミナー~

中期・元気セミナーは7月30日、 ハーブ・コーディネーターの長尾美 恵子先生を講師に、高い美肌効果が あると言われているローズヒップで ローションづくりに受講生11人がチャ レンジしました。

みなさん上手にローションづくりが でき、その香りに癒されました。

先生手作りのジャムも紹介いただ き、ローズヒップの活用法を幅広く 学んだ一日でした。





## ~ 館山から ~

全国高校野球大会が終わった。今年は埼玉県代表の 花咲徳栄高校の正捕手として、千厩字竹原出身の菅原 謙伸選手(3年)が出場したので注目して見た。

花咲徳栄は一昨年全国制覇した強豪ですが、初戦で センバツベスト4の明石商業と対戦し惜しくも3-4で敗 退した。

しかし、菅原選手は7回の第3打席で相手投手の2球 目をよけようとするも左肩付近に直撃。死球で出塁かと 思ったら、菅原選手はすぐに球審に「デッドボールじゃ ないです。すみません」と申告。「ストライクゾーンに 体が入っていた」と明石商業の捕手や投手、相手ベン チにも頭を下げた。すると、何とその直後の3球目をレ フトスタンドに同点となる本塁打を放った。

千厩小、千厩中で軟式野球をし、埼玉の名門・花咲 徳栄に進んだ菅原選手。ここに至るまでの苦労と努力は 並大抵のことではなかっただろう。試合には敗れたもの

## 菅原謙伸選手の本塁打

の扇の要として、そして打者として活躍した姿に感動し 一番安堵しているのは両親、良一郎さんと富久子さん ではなかろうかと思った。

今年は、岩手県大会163キロ右腕の大船渡高校・ 佐々木朗希投手の活躍が全国的に注目されたが、甲子 園に進むことはできなかった。 いずれ、全国制覇でき なくても県大会で終わったとしても、選手にとっては、 これまでの努力と経験がきっと素晴らしいことだったの ではないだろうか。なぜなら高校野球は教育の一環、 人格形成が目的であるから。

甲子園を目指し努力した球児たちが、その経験を生 かし、これからの人生を堂々と歩んでいくだろうと思え てならなかった。

千厩市民センター所長 金野富雄

※コラム~舘山から~は、随時掲載します。